令和7年度 中堅教諭等資質向上研修（必修1－1）

教科指導法研修会（中高・美術）の課題について

担当講師：新野貴則（山梨大学）

本研修会では、日々の授業を振り返り、よりよい美術科教育における指導のあり方について検討していきます。そこで、以下の要領で課題を作成してください。

【課題】美術科の授業実践の報告

これまでに実践した題材の実践報告をお願いします。以下の資料をご用意ください。可能な範囲で構いません。

１．授業実践記録

題材の全体像が分かる簡単な記録（A4で1~2枚程度）を「受講者数（センターHPに掲載）＋講師用１部＋センター保存用１部」印刷して、ご持参ください。

およそ下の①～⑥内容があれば分かりやすい記録になります。学習指導案（略案）のような書式をイメージしていただけるとよいと思います。次頁の書式を参考にしてください。作成しやすいように内容を省略したり、書式を変更したりしても構いません。

①題材名

②題材の目標

③題材について（生徒観、題材観、指導観など）

④題材の評価規準

⑤題材の全体計画（学習のねらい、学習活動、指導上の留意点、評価規準と評価方法）

⑥その他（ワークシート、板書計画、材料・用具、施設、教室配置計画等）

２．上の授業実践の生徒作品

生徒の作品を一部記録してください（すべて記録する必要はありません。また、高く評価した作品に焦点を絞る必要もありません）。USB等に記録し、ご持参ください。こちらで再生用のパソコン（Windows）を用意しておきます。

または、記録を適宜編集して印刷していただいても、上の「授業実践記録」の中に挿入していただいても構いません。

もし、実物をご持参いただける場合は、記録の必要はありません。

また、鑑賞の授業実践をご報告していただく場合は、生徒作品は不要です。ただし、どのような作品等を鑑賞したか分かるようにしておいてください。

＊研修当日までに研修課題等について質問等ありましたら、下記までご連絡ください。

〈連絡先〉山梨大学教育学部 新野貴則：tnino@yamanashi.ac.jp

授業実践の記録の書式〈参考例〉

１．題材名：

２．題材の目標：

３．題材について

(1) 生徒観

(2) 題材観

(3) 指導観

４．題材の評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 知：技： | 発：鑑： | 態表：態鑑： |

５．題材の全体計画

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | ○学習のねらい・学習活動 | ・指導上の留意点◇評価規準、評価方法 | 備考（材料、用具、設備など） |
|  |  |  |  |

６．その他（ワークシート、板書計画、材料・施設、教室配置計画等）